※令和３年度以前入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の地理Ａ」（帝国書院）、「標準高等地図」（帝国書院）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図に親しむことにより空間認識能力を高める。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・現代世界の出来事に興味を持ち、その自然的・歴史的背景を考える。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、地域性を踏まえて多面的･多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 発表用レジュメ（パワーポイント）	〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	旅からとらえる現代世界	・旅の目的はいろいろ ・海外旅行を身近にしたもの ・旅を身近にする地図 ・緯度が違うと何が違う ・経度が違うと何が違う ・ほかの国に入るということは ・日本の領域と領土問題 ・国どうしのまとまり ・モノの産地はいろいろ	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:グローバル化が進む現在では、地球という球面で考えていかなければならないことに関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:国境を越える人・「もの」・資本の移動とそれにともなう諸問題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球儀上の位置の示し方や時差の計算、用途に応じた適切な図法の選択ができる。 d:地球儀や地図でとらえる現代世界の各主題について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	世界の自然環境と文化	・地形 躍動する大地 川がつくる地形 海岸でみられる地形 氷河地形・カルスト地形 ・気候 気候の違いと人々の生活 熱帯の気候と人々の生活 乾燥帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ・文化 宗教言語と人々の生活 生活文化のグローバル化	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることとその理由について、関心をもって学習している。 b:世界の民族・宗教と生活・文化、産業の地域性について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:雨温図を作成する作業をとおして、世界を各気候区分に分類する技術を養う。 d:世界の地形・気候の成り立ちや、基本的な用語を理解している。	定期考査 ワークシート
	世界の諸地域の生活・	・中国 ・韓国 ・東南アジア ・南アジア ・中央アジア・西アジア・北アフリカ	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:世界の諸地域の人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けていることに関心をもって学習している。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

前期		・サハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アメリカ合衆国 ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	b:世界の諸地域が現在抱えている経済、民族、環境に関わる問題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 教科書に掲載されている主題図や、グラフ、写真を適切に読み解く技術を身につけている。 d:世界の諸地域について、地域性を特徴づける自然環境、産業、生活・文化等に関する正しい知識を身につけている。	
後期	地球規模で広がる課題	・世界の人口問題 ・世界の食糧問題 ・世界の都市・居住問題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の環境問題 ・地球的課題の解決に向けて	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力について、グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につけている。 b:地球的諸課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:人口ピラミッドを作成する作業をとおして、社会の発展に応じてその型が変化することを理解している。 d:地球的諸課題の原因、現状、解決策に関する正しい知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	身近にある様々な地図	・さまざまに表現される主題図 ・一般図の利用 ・GIS を用いた地図表現	○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	a:観光地図など、教科書に掲載されている地図を、関心をもって参照し、地図を読むことの楽しさを理解している。 b:地図は作成者の意図により情報が取捨選択されていることを知り、目的に応じた地図の選択や、その改良点について考察している。 c:新旧地形図の比較から地域の変化を読み取る技術や電子国土基本図の利用のしかたを身につけている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

							d:地形図の決まりごとや記号の意味を正しく理解できている。	
後期	日本の自然環境と防災	・日本の自然環境 ・防災の取り組み	○ ○	○ ○	 ○	○	a:日本では、これまでさまざまな自然災害が繰り返されてきたことを知り、日常的に防災を意識する態度を身につけている。 b:伝統的な災害対策について学び、現在の防災に活かす方法について考察している。 c:津波ハザードマップの読み取りやＤＩＧをとおして個々の防災力を高めるようとりくんでいる。 d:日本の気候と地形の特徴について正しい知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	身近な地域の課題と地域調査	・調査テーマの設定 ・調査の実施 ・調査結果のまとめと発表	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:日頃から地域の特徴や課題に関心をもつ態度を身につけている。 b:適切なテーマの設定と、必要な調査について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:集めた情報を整理・分析し、図化する技術を身につけている。 d:地図、統計、書籍などをもとに事前に地域の全体像を把握できている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。